

なかがわ 議会だより

No 138

2021.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



来春廃止予定の歌内駅



安全対策として木板を設置した大富地区農業用排水路

7月16日(火) 総務常任委員会現地調査

主な 内容

- 第3回臨時会
- 第3回定例会 【一般質問 1氏】
- 委員会報告
- 議会日誌
- 編集後記

第三回臨時会

令和3年7月19日招集

令和3年第三回臨時会は、7月19日招集され、会期を1日と決し、予算補正1件を決議し閉会しました。

議案審議結果

【予算】

▼令和3年度中川町一般会計
予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ417万2千円を追加し、予算総額をそれぞれ39億7557万円とする。【原案可決】

主な補正内容は、大和林地改良工事（復旧費用）の追加

質疑応答

▼令和3年度中川町一般会計
予算補正
■岡崩落現場を確認に行っているのか。



大和林地の法面崩落現場を調査する
経済常任委員会

感染力が強い変異株にご注意ください!!

2021年版

ゼロ密を目指そう!

～一つの密でも避けましょう～



人と会うときは



- ・人と十分な距離を保つ!
- ・混雑している場所や時間を避ける!
- ・オンラインの利用や時差出勤を!
- ・屋外でも密接、密集を避ける!

飲食するときは



- ・少人数・短時間で、大声は避けて!
- ・ガイドラインを守ったお店で!
(アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など)
- ・テイクアウトやデリバリーも!



ポイント

会話時はマスクを着用



※体調不良時の出勤・登校などはお控えください。

【答】岡崩落現場の先に植林を行わなければならない場所があるため、定期的に確認している。岡崩落現場から路盤が崩れている部分もあるが今後どうするか。

【答】その部分についても把握しており不具合箇所が確認できればその都度対応していきたい。岡施工効果は何パーセントくらいあるのか。

【答】民間が施業できるような体制を整えることが効果と考える。しており、事業費がどれくらいか、それがどれくらいか、どの効果が得られるかどうか、は検討しなければならないが、

費用対効果は1を超えているものと考えている。



◆第3回定例会◆

令和3年第3回定例会は9月16日招集され、会期を10月6日までとし、1議員の一般質問、選挙1件、同意2件、報告2件、議案5件、予算補正2件、意見書2件、会議規則3件、決算認定を決議し、閉会しました。



第3回定例会の様子

議案審議結果

【選挙】

▼中川町選挙管理委員会
員及び補充員の選挙

指名推薦による選挙
選挙管理委員

谷口 充洋 氏
大見 孝夫 氏
立松 潤也 氏
三井 遥佳 氏

選挙管理委員補充員

第1番 藤森 厚子 氏
第2番 菊田 浩司 氏
第3番 河瀬 敏子 氏
第4番 佐武ひとみ 氏

【選挙完了】

【同意】

▼中川町教育委員会教育長の任命

高橋 信行 氏
【原案同意】

▼中川町教育委員会委員の任命

椿本 寿美 氏
【原案同意】

【報告】

▼令和2年度中川町健全化判断比率の報告【報告済】

令和2年度中川町健全化判断比率のうち、実質公債

費比率は13・3%。早期健全化基準25%を下回る。

▼令和2年度中川町資金不足比率の報告【報告済】

令和2年度は資金不足が生じなかったため数値なし。経営健全化基準20%を下回る。

【条例改正】

▼中川町手数料条例の一部を改正する条例について

【原案可決】
マイナンバー法の一部改正に伴い、個人番号カードの再発行に係る手数料を、地方公共団体情報システム機構が手数料を定めることとなったため改正。

▼中川町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

【原案可決】
マイナンバー法の一部改正に伴い、参照条文ほか所要の改正。

▼中川町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について【原案可決】

マイナンバー法の一部改正に伴い、参照条文ほか所要の改正。

要の改正。

【議案】

▼中川町過疎地域持続的発展市町村計画について

【原案可決】
令和3年3月、過疎法が廃止され4月から新たな過疎地域振興の特別措置法が施行されたことに伴い、市町村計画を策定するものである。

【予算】

▼令和3年度中川町一般会計予算補正【原案可決】

歳入歳出総額に、それぞれ2057万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ39億9614万5千円とする。
主な補正内容は、庁舎電算室エアコン更新工事、新型コロナウイルス感染症検査費用助成、中川診療所屋外電源切替盤発電機回路配管工事、ポンピラアクアリズイング基本計画策定業務委託などの追加。

▼令和3年度中川町一般会計予算補正（追加議案）【原案可決】

歳入歳出総額に、それぞれ124万円を追加し、予

算総額をそれぞれ39億9738万5千円とする。

主な補正内容は、トレセンのボイラーに付属する密閉式膨張タンク取換費用の追加。

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事件

- 1 医療・福祉施設の運営について
- 2 住民交通機関対策について
- 3 地域教育力の向上について
- 4 総務常任委員会にかかわる施策について

■期限

令和3年第4回定例会まで
【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事件

- 1 産業振興対策の現況と今後の展開について
- ・ 農林業振興政策について
- ・ 有害鳥獣対策について

公共施設の今後のあり方について

3 経済常任委員会にかかわる施策について

令和3年第4回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

- 1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

令和3年第4回定例会まで
【継続調査決定】

【意見書】

▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

▼国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき関係各位に送付。※意見書の要旨は5ページに記載

【決算審査】

10月5日・6日の2日間にわたり審議しました。詳細については、次号にてお知らせします。

【特別委員会の設置】

ポンピリアクアアライズイン

グ基本構想策定業務に係る中間報告と今回補正予算として提出され議論となった基本計画策定業務について、「ポンピリアクアアライズイン」を設置し審査する事に決定。

質疑応答

▼中川町過疎地域持続的発展市町村計画について

問記載されている予定の人口よりかなり減っているが精査した方がよいのではないかと。

答第7次中川町総合計画が本過疎地域持続的発展市町村計画の上位計画となっており、その基に基づいた数字を記載しています。

▼令和3年度中川町一般会計予算補正

問ALIT（英語指導助手）がコロナの影響で来日できず4月から9月分の給与が減額されているが、今後の見通しについて。

答10月中旬には来日できる見込みで、11月の初旬には赴任出来る見通しです。

問ポンピリアクアアライズイング基本計画策定について、基本構想の説明があったが町民の意見等は聞かないのか。

答基本構想並びに基本計画が策定できれば町民に提示し、議会にもお示しする考えです。基本構想の中間報告もしていますが、本年度中に基本構想を策定し、議会の求めに

応じ一定程度の進捗ごとに説明報告をいたします。ご理解願います。



劣化が進むポンピリアクアアライズインの外壁

問全員協議会で基本計画についての資料は受け取ったが誰が承認したのか。

答当初予算の時に（基本構想委託）について説明し、更に300万円の追加をしたいと提案しておりますので、ご理解願います。

問新型コロナウイルス経済対策として「商品券配布」とあるが、年末に配布して終わりと考えているのか、それとも長期的に対策していくのか。

答町としては国からの交付金があるなしに関わらず、今後も町の商工従事者や中小事業者の動向を見ながら、必要に応じ経済対策を検討します。

問プレミアム商品券について経済対策も含めて考える余地があるのではないかと。

答プレミアム商品券については道の支援も別枠であるため、政策上検討する余地はあると考えている。しかし去年と今年の交付金の額で考えると、低所得者層に配慮した一律商品券とした。

問町有施設のコロナ対策の状況について、一覧表にしたチラシを出す考えはないかと。

答ワクチン接種については希望されている方は全員終了しました。今後も町民に注意喚起をするために、チラシなどについては検討していきたいと考えます。

問トレセンのボイラーはいつ導入したものか。

答ボイラーは数年前に更新しており、今回取換をするのはボイラーに付属する密閉式膨張タンクとなっている。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

主な要請内容は次の通りです。

1. 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
3. 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする事。
4. 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和3年9月16日
内閣総理大臣他7名 宛

北海道中川郡中川町議会議員 佐藤 輝雄

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

主な要請内容は次の通りです。

- 一、国土強靱化に資する社会資本の整備・管理が長期安定的に進められるよう、公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること。
- 一、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を確保すること。
- 一、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5カ年対策プログラム」に基づく橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進するため、点検・診断・補修などのメンテナンスサイクルを確立し、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の充実を図ること。
- 一、新広域道路交通計画に基づき、高規格道路については、着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化といった機能強化を図ること。また、高規格道路と並行する国道とのダブルネットワークの構築などによるリダンダンシーの確保や道路の防災対策などによる耐災害性の強化を推進するほか、重要物流道路のさらなる指定を図ること。
- 一、冬期交通における安全性の確保、通学路などの交通安全対策、無電柱化の推進、安全で快適な自転車利用環境の創出、北海道観光の振興に向けた道路交通環境の整備など、地域の暮らしや経済活動を支える道路の整備や管理の充実を図ること。
- 一、維持管理に活用可能な交付金制度を創設するとともに、公営住宅など公共施設の長寿命化について、すべての管理施設の点検や診断、補修、更新が交付対象となるよう採択要件を緩和するなど、地方負担の軽減を図ること。
- 一、冬期における円滑な交通確保のため、除排雪に必要な予算を確保するとともに、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること。
- 一、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するため、粘り強い堤防の整備に関する交付金制度の拡充や準用河川改修の事業要件緩和、小規模河川改修に対応した財政、技術支援制度の創設など、「流域治水」の取組に必要な財政支援を更に強化すること。
- 一、災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月16日
内閣総理大臣他10名 宛

北海道中川郡中川町議会議員 佐藤 輝雄

問 公共施設の維持管理の対策について

答 安全性を優先し、施設運営に支障が生じないよう適宜必要な維持管理に努める



小池 豊 議員

本町の各公共施設は、高度経済成長期の景気が続いた建築ブーム時に建てられた建築物が多く老朽化が進む中で、今後維持管理をしていく面で多額の費用が必要と考えられる。こういった中で少子高齢化と人口減少が進むにつれ、維持管理費用等の対応に追われることが予想され、今後、総合的な経済対策を講じなければと考えられる。

石垣町長

1点目の一心苑の今後の対策については、建設から41年が経過し、法定耐用年数が50年であることから建替えが必要。町の将来の人口推計や利用者の見込み要介護度の推計など様々な角度から分析し、施設の在り方を具現化するための協議を進めます。

一心苑の施設機能は本町の福祉施策を担う上で重要。今後も維持しなければならず、指定管理者として運営委託をしている社会福祉協議会とともに、様々な課題を整理しながら新たな施設整備に取り組みんでいく。

再質問

個別施設計画では、一心苑を「建替か改修するのか」の検討期間3年では遅いのではないか。現状、躯体構造的に問題点はないのか。

石垣町長

今は、大規模修繕、設備等の更新予定はなく、少額修繕費等は今後も出てくると思われる。そうしたことから整備に着手するのが遅いのではとの指摘はその通りである。対応年数の3/4以上が経つ施設整備は急務との認識で、最優先は温泉その次が特養と考えている。

再質問

現状、事務室出窓からの雨水漏れ、ホール天窓枠腐食、施設管理点検と実施状況などの把握はされているのか？

石垣町長

施設維持管理については指定管理者が担うもの。少額修繕は指定管理者が行う。大規模修繕は施設所有者が行うことになっており、施設管理者と協議し、早急に確認します。2点目の学校施設長寿命化

の対策については、昨年度、10年間を計画期間とした「中川町学校施設長寿命化計画」を策定し、老朽化の状況や維持・更新コストなどの把握と学校施設の機能、性能、確保を図ります。

小中一貫義務教育学校を配置する場合、避難所に指定されている中学校敷地への増築、もしくは新築が想定されます。既存施設との機能統合若しくは有効活用、あるいは体育施設そのものの必要性や効率的な機能分散化も検討し、小中一貫9年間の連続した教育に対応するための施設環境、空間構成、施設機能等について一つの可能性として比較検討を進めます。

再質問

学校施設長寿命化計画では、「日常点検で異常や不具合に対し五感を使って異常に気付く」とあるが、現在の日常点検をいつ・誰が・どのような体制で行っているのか。また施設の点検記録簿はあるのか。

教育次長

施設の破損等は、学校から

連絡があると教育委員会が確認を行い小規模な場合は即対応する。緊急性がなく費用が大きい場合は、地域貢献も含め業者に依頼する。基本的に学校からの要請で行うが、定期的に学校に出向き職員が目で点検し、点検簿もガイドラインに沿ったものがある。

再質問

これまで様々な事故があったが、これまでの施設管理に対し五感が生かされているか。

石垣町長

経験則は大事な要素だが、職員の人事異動があるため経験則が一定程度あるとは言えない状況である。現場や担当者からの指摘や連絡により、適切な維持管理に努めていきます。

3点目の廃校施設の対応について、旧共和小中学校は老朽化が著しく、景観上も好ましくなく解体・除却で事業評価を行っているものの、多額の費用がかかることから実行に至っていない。旧佐久小学校については、有効な利活用策が見い出せない場合は、地域的な合意を前提に、解体・除却の選択もやむを得ないものと認識している。

今後については、持続的な行政サービスに配慮し、各施設の整備計画との整合性を保

ちつつ、一定のニーズに対応できる公共施設の適正配置を検討し、地域の皆様と意見交換を行いながら方向性を考えていきます。

再質問

旧共和小中学校の元教職員住宅が雪害で破損、散乱し、斉藤茂吉小公園の景観を損ねている状況を把握されているか。

石垣町長

今後老朽や破損度合いに応じて早急に対応しなければならぬ場面も十分想定される。早急に旧共和小中学校舎と元職員住宅の解体撤去に対応したいと思えます。

再質問

旧共和小中学校には行政が使用しなくなった備品等の置き場となっている。放置するのではなく、一日も早い対応を願う。平成を省み令和の行財政を進めて頂きたいと思えます。

石垣町長

ゴミの不法投棄もありましたが、環境衛生、美化に配慮した環境整備を進め、優先順位を定め、資金計画を含めたサービス施設の構築に努めます。

経済常任委員会現地調査を実施

経済常任委員会は、7月27日（火）大和林地道改良工事施工箇所（火）の現地調査を行いました。大和林地道では、法面崩落現場の状況と今後の整備計画について、町担当者より説明を受けました。最少の経費で安全な林道の維持管理を行う難しさを実感しました。



町担当者より今後の整備について説明を受けました

今後も経済常任委員会では、住民が安心して日常生活や経済活動が行えるよう、必要に応じて様々な現場に向き、施設等の管理状況や安全対策について調査を実施します。



法面崩落現場の状況

総務常任委員会現地調査を実施

総務常任委員会は、第2回委員会を7月16日（金）本年度の検討課題である「地域教育力の向上について」を議題として、協議検討をしました。

正田吉識教育次長及び担当者から、現在、中川中学校生徒に対して行われている「なかがわ塾」の運営について、現況や課題、町の支援内容や受講生の進学状況、保



希望する高校入学を目指し頑張ってます!



9月27日に実施したボリュームたっぷり配食弁当

護者や学校の協力状況について聞き取り調査を行いました。
また、子育て支援試行事業として児童生徒に行っている配食サービスの実施状況や、今後の展開についても聞き取り調査を行いました。
午後からは、町内全域にわたって現地調査を行い、町有施設の管理状況等を調査しました。

議会 目 誌

7月 26日 国土交通省北海道局オンライン要望
第3回経済常任委員会

27日 第3回経済常任委員会

8月 24日 第3回西天北五町衛生施設組合議会定例会
【幌延町】

9月 8日 第7回議会運営委員会
第14回全員協議会
第15回全員協議会
16日 第3回定例会（1日目）
第6回広報特別委員会

10月 1日 土別市長渡辺英次氏来庁
5日 第3回定例会（2日目）
第7回広報特別委員会
第8回議会運営委員会
6日 第3回定例会（3日目）
第1回ポンプリアクアリズイング基本計画策定特別委員会
中川町表彰条例審査委員会
7日 上川北部市町村議会議長会9月定例会【下川町】
10日 第44回全国育樹祭
【札幌市】

中川町議会 モニターを 募集しています

町議会の円滑で民主的な議会運営を推進するため、町民からの要望や提言及び意見等を広くお聞きし、今後の議会運営に反映していく目的で「町議会モニター」を設置しています。

町議会の仕組みや運営に関心があり、町行政及び地域社会の発展に関心のある方のご応募をお待ちしております。

■応募条件（若干名）

- ・満18歳以上の町民で、公務員、各種行政委員でない方
- ・町議会のしくみや運営に関心がある方
- ・町政及び地域社会の発展に関心がある方

■任期

- ・着任の日から2年とし、再任は妨げない。

■職務の内容

- ・年4回開催の定例会に出席し、その意見を文書等により提出
- ・「議会だより」に関する意見を文書等により提出

※詳しくは議会事務局 ☎ 7・29 44までお問い合わせください。



10月3日(日) 交流プラザで行われた秋味祭り



町内飲食店の弁当や中川村の果物等が販売されました

編集後記

わが町の山も紅葉し、赤や黄色に色づいてきました。初雪の訪れがいつになるかと気になるシーズンです。この度も中川町議会だよりを讀まして頂きありがとうございます。北海道も緊急事態宣言が解除になり、皆様のワクチン接種も順調に終了し、新型コロナウイルス新しいスタイルでの日常生活がスタートしてはいますが、油断することなく予防をしっかりとし、楽しめるイベントやサークル活動への外出の機会が少しでも増えることを期待しております。

予防活動も大切ですが、笑って暮らせることが一番の予防になるかと思っております。
(英責)



議会広報特別委員会

委員長 佐々木 英和
委員 小池 豊



この広報紙は道産間伐材を使用しています。